

地域再生計画「関係人口と共にデザインする全世代活躍の持続可能な伊賀市づくりプロジェクト」の策定と取り組みについて

市では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、市民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成(まち)、地域社会の担い手となる多様な人材の確保(ひと)、多様な就業の機会の創出(しごと)を一体的に推進することにより、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるための取り組みをすすめています。

これらの取り組みをすすめるにあたり、「地域再生計画」を作成し内閣総理大臣の認定を受けることで、地域再生計画に記載した事業に対し、財政、金融等の支援措置を活用することができることとなっています。

市では、令和4年3月、新たな地域再生計画となる「関係人口と共にデザインする全世代活躍の持続可能な伊賀市づくりプロジェクト」について、内閣総理大臣の認定を受けました。

■関係人口と共にデザインする全世代活躍の持続可能な伊賀市づくりプロジェクト

<事業内容>

シニア世代を含む全世代が生涯を通じて地域で活躍できることで、より一層シビックプライドが醸成され、伊賀市に住み続けたいと思う人が増加することによる転出者の抑制をめざします。また、生涯を通じて活躍できる本市への移住を希望する人や、そのようなまちを応援したいと思う関係人口の創出・拡大に向けた事業を展開し、多様な人材・産業創出の活性化により、持続可能なまちづくりの実現をめざします。

<事業の内容> ※関連部分を抜粋

○関係人口創出・拡大、移住促進に向けたアプローチ

○誰もが輝く生涯活躍の伊賀市づくり

・これまで、自らが地域の担い手となる若い世代を IGABITO として位置づけ人材育成を行ってきましたが、効果検証から、シニア世代を含む全世代を対象とした IGABITO の育成など、高齢者政策と連携・組み合わせた取り組みの必要性が見えてきました。

・若い世代だけでなく、シニア世代を含む全世代が活躍できる場づくり、学びの場づくりをめざし、地域福祉の推進を担う民間団体である社会福祉協議会との連携により事業を展開します。

・その上で、社会福祉協議会の人材育成に関するノウハウも活用し、市が設置する伊賀市若者会議及び社会福祉協議会との協働による事業推進主体の立ち上げ等、官民協働による全世代活躍の伊賀市づくりのための基盤づくりをめざします。

<事業イメージ>

関係人口と共にデザインする全世代活躍の持続可能な伊賀市づくりプロジェクト



事業実施期間 2022(令和4)年4月1日～2025(令和7)年3月31日まで

総事業費 274,424 千円

事業の検証 (1)総合計画審議会
(2)地域福祉計画推進委員会

数値目標

KPI	事業開始前	2022年度 増加分	2023年度 増加分	2024年度 増加分
(1)本事業による移住相談等を通じて、新たに移住した人数	327人	90人	91人	92人
(2)シニア世代を含む全世代を対象に、新たに育成した新 IGABITO の人数	1,262人	200人	150人	200人
(3)SNS 等を活用した伊賀市ファン登録制度への新たに登録した人数	0人	200人	300人	500人
(4)市民意識調査において、生涯学習の重要性を理解し、積極的に学んでいる と回答した人の割合	40.2%	1.5%	1.5%	1.5%